

尚絅学院大学

2019

韓国 培材大学

夏期短期留学プログラム

学生報告



8月11日(日)～8月23日(金)

培材大学 国際サマースクール

■ プログラム概要

本学の協定校、韓国・培材大学で行う、2週間の研修プログラムです。日本全国から学生が参加し語学研修や文化体験を行い、異文化理解と国際的視野を広げます。パイロットと呼ばれる培材大学の学生がイベント企画、留学生の授業、課外活動、寮生活などのサポートを行っており、学生同士の交流の輪が広がります。毎年4月に募集を行います。

➤ 言語コミュニケーションスキル向上(韓国語授業)

初日に行うレベルテストによって初級・中級・上級クラス別授業を受けます。パイロット学生は韓国語だけでなく、英語、日本語も堪能な学生が多く、多言語のコミュニケーション環境が整っています。

➤ 異文化理解

パイロット学生が企画した多彩な文化プログラムを体験できます。市街地見学、体育大会、民族衣装試着、テコンドー体験、K-POP コンサートなど韓国文化を肌で感じることができる充実の内容です。



➤ 2019年度参加学生9名

- ・表現文化学科 — 1名
- ・人間心理学科 — 4名
- ・健康栄養学科 — 4名

■ 目次

■ プログラム概要・目次・スケジュール 1

■ 学生レポート 2~14

■ 感想 15~32

■ フォトスナップ 33

■ 報告会学生発表資料 34~43

■ スケジュール

1週目	8月12日(月)	8月13日(火)	8月14日(水)	8月15日(木)	8月16日(金)
8月11日(日) 午後2時まで 仁川空港到着	開会式 歓迎昼食 大学見学	韓国語授業 大田見学	韓国語授業 韓国学授業	韓国語授業 自由時間	文化体験 全州韓屋村
2週目	8月19日(月)	8月20日(火)	8月21日(水)	8月22日(木)	8月23日(金)
ソウルから帰国	韓国語授業 テコンドー体験	韓国語授業 修了式 歓送会	ソウル見学	ソウル見学	ソウルから 帰国

1 週目

研修スタート！韓国へ出発！

8月11日(日)から23日(金)まで、9名の学生が、韓国の協定校である培材大学短期留学プログラムに参加しています。6月より事前研修を行い、韓国語や文化を学んだり、昨年の参加者の話を聞くなど準備を重ねてきました。



【仙台空港にて】

8月11日、仙台空港から韓国へ出発しました！

韓国に到着すると、空港に出迎えに来た培材大学の学生(PILOT)がお出迎え。大学のある大田(テジョン)まではバスで3時間ほど。移動を経て、大学での寮生活のスタートです！



【出発と出迎えの様子】

韓国語のレベル分けテストと大学見学

培材(ペジエ)大学でのプログラムがスタートしました！プログラムの1日目は、オープニングセレモニーと韓国語のレベル分けテストと大学見学でした。このテストの結果で、クラスが分けられます。



【学生ボランティア PILOT の皆さんとセレモニーの様子】

韓国は日本と似ている街並みもありますが、鮮やかな色合い、日本にはないお店が並んでおり、とても魅力的な土地です。



培材大学はとても広く、綺麗で、尚綱の5倍の坂、10倍の敷地があり驚きました。私たちが滞在する寮は設備が整っており、地下にコンビニもあって買い物がしやすいです。



昼食は学食で、韓国らしい食事を頂きました。本場のキムチやキムチスープなど、想像はしていましたが、日本より辛かったです、美味しかったです。



明日から授業が始まるので精一杯頑張りたいと思います！

(人間心理学科 2年 M.C.)

初授業と運動会

今日は初めての授業でした。前日にテストでクラス分けされ、それぞれレベルにあった授業が行われました。授業は50分間で、3コマでした。

私はハングル文字を1から学ぶクラスでした。先生は優しく教えてくれ、分からないことがあればすぐに教えていただけます。ひとつひとつの発音が難しく、子音と母音がくっつく形で成り立っているため、ハングル文字を書くにも読むにも一苦労でした。先生は日常的な言葉も教えていただいたので活用したいと思いました。



午後からは運動会がありました。運動会というと、バレーやバドミントン、野球などのイメージが浮かびますが、実際はダンスを踊ったり、みんなが布を持ってその上を走るなど、日本ではないような競技だけでした。私達はイエローチームで京都の大学の人とペアでした。結果は3位！景品にお菓子をもらいました!!



夜ご飯は、同じ部屋の静岡の大学生2人と北海道の大学生1人と私達とでご飯を食べに行きました。キンパ(海苔巻き)を食べました!!二日間続けてキンパを食べましたが、長年キンパ屋さんを営んでいる老夫婦が優しく、おまけに豚肉も入れてくれたり、虫に刺されているところに薬を塗って心配してくれるなど、素敵な方々に会えてとても嬉しかったです。



(人間心理学科 2年 R.K.)

エバーランド(テーマパーク)見学

今日はエバーランドへ行きました。はじめに、「Safari world」(動物園)で20分間バスに乗り、クマやライオン、ホワイトタイガー、クマを間近で観ることができました。その迫力にとっても興奮しました！



次に、「Amazon express」というアトラクションを体験しましたが、円型の船に乗って水の上を波の勢いで移動する迫力のある乗り物でした。水に濡れずにすんでよかったです。



そしてエバーランドで1番人気のジェットコースター「Texpress」に乗りました。予想以上にスピードが速く、全身が宙に浮き、全体の力を奪われるほどでした！アトラクションに乗るためには早めに並ばないと1時間以上待つことになるので開園前から並んで良かったです！買い物もたくさんでき、とても充実した一日となりました！



(健康栄養学科 4年 M.T.)

韓国語の授業とテジョンの町について

今日は9時から12時まで韓国語の授業がありました。授業の内容は動詞についてで、それぞれの意味を知っている前提で動詞を過去形、現在、未来形にする授業でした。

一人一人に、韓国語で「昨日エバーランドで何に乗ったか」、「何を食べたか」、「どうやって行ったか」、「何時に行ったか」などを聞いたり、ジェスチャーも交えながら、文の作り方を教えていただきました。韓国語を話す・聞く・書くなど、分かりやすく指導していただきました。

授業後、テジョンのスカイロードという商店街に行き、学生ボランティア(パイロット)オススメの「ロボクック」というお店に行きました。そこではパイロットと一緒にパスタを食べました。ボリュームもあり本当に美味しかったです。



【スカイロードとロボクック】

スカイロードに行くまでにバスを利用しましたが、日本でいうSuicaやPASSMOなどのように、韓国でも「tmoneyカード」があり、バスに乗る時と降りるときにかざしました。バスに乗ってみて、椅子の色がたくさんあり、色別に妊婦の方や車椅子の方などどういう人が乗るのか表示されていることに気づき、日本と違うと感じました。

また、バスに乗った時は必ず、乗客がこんいちとは挨拶していて日本ではあまりみられない光景だなと感じました。



昼食を済ませたあと、テジョンで有名なそぼろパンのお店「聖心堂」に行きました。そぼろパンの中には、あんこやさつまいもあんなどたくさんの種類がありました。周りがサクサクで日本では味わえないとても美味しいパンでした。その後、各自、自由にスカイロードでショッピングをしました。地下街の商店街にも、たくさん服が安く売られているため、若い方にはオススメのスポットです。



(健康栄養学科 4年 R.T.)

韓国語と韓国学の授業について

今日は、午前中に韓国語の授業がありました。私は 1A というクラスで、初歩のレベルなので今日からやっと文法の学習に入りました。簡単な「안녕하세요」(こんにちは)など挨拶を学んだり、自己紹介の仕方を学びました。

午後の韓国学の授業では、初日に歓迎会とレベルテストをした「spu101」という建物で行いました。韓国に 20 年ほど住んでいる日本人の先生から、日本人から見た韓国と韓国人から日本を詳しく学びました。

私は知っていることもちらほらありましたが、あっと驚くこともたくさんあり、まだまだ知らないことがあるんだなと思いました。

1 番驚いたことは、大学の授業の履修が大変だということです。

韓国ドラマの「チーズ・イン・ザ・トラップ」のワンシーンで主人公たちが授業の履修登録をしている光景を見ました。日本とは違って他の生徒と競争しないと履修したい授業が取れないということが分かりました。

最後にみんなの好きな K-POP の曲を YouTube で流してもらいました。3 曲ほどでしたが楽しめました。もう少し聞きたかったな…という気持ちもありました（笑）

韓国学を受ける前はきっと硬くて難しいものだろうなと思っていましたが、今の若者向けにわかりやすく教えて頂けたのでとても楽しかったです。



夜はみんなでペダル(韓国での出前)をして部屋のみinnで食べました。とてもいい経験だったと思います！



(人間心理学科 2 年 H.K.)

週末の自由行動 ソウル編(1)

私にとって人生初ソウル。大田駅から高速バスを使って、約2時間でソウルに行くことができました。1つ感じたことは、日本より遥かにビルやマンションが高く驚きました！

ソウルに着いてから明洞に移動しました。初めて地下鉄にりましたが、空いていても優先席に座っている人があまりおらず、日本と違うと感じました。そして安いことも魅力的です。

明洞ではコスメのお店を見たり、屋台でチーズチキンを食べました。甘辛くて外はカリカリしてとてもお気に入りです。そしてソウルを歩いていて気づいたことは、日本語が上手い人が多いということでした。接客に対しては断り方をどうすればいいか迷いました。

そこから梨大に移動してカカオショップに行きました！梨大はかなり人が多く、迷子になりそうなくらいでした。カカオショップでは“アピーチ”のもちもちとしたぬいぐるみとパスポートケース、そしてお土産を買うことが出来ました。店員さんも韓国語に慣れていない私に優しく接してくれて嬉しかったです。

そして街の中で安い服屋さんを見つけ、たくさん服を買いました。



またダンスをしている男子のグループや女子のグループがいました。BTSやBLACKPINK、IZ*ONE、TWICEなどのK-POPを踊っていて、韓国ならではの感じました！

そして移動する時に「ゴンチャ」でタピオカを飲みました。日本ではなく韓国で初めてゴンチャやチーズドックを食べることができました。また驚いたのがロッテリアに行った時に、注文が大きなタッチパネル式で日本でもタッチパネル式を取り入れたらいいのにと感じました。



韓国の濃密な2週間を思い出すと、韓国の先生から聞いたように韓国は住めば都だと感じました。次に行く時には、少しでも韓国語を話せるようになりたいです。

(人間心理学科 2年 R.K.)

週末の自由行動 ソウル編(2)

私達のグループは弘大、梨大に行きました。弘大は若者の街と言われるように、若者たちでにぎわい、様々なお店がありました。雰囲気が東京の原宿と似ているなと感じました。

梨大では主に服の系統がたくさんあり、すごく買い物が楽しかったです。

弘大では、サムギョプサルを食べました。私は初めてのサムギョプサルだったので、お肉の分厚さや、付属のキムチやナムルの多さと美味しさに感動しました。

みんなでいっぱい食べるつもりでしたが、思ったよりお腹がいっぱいになるのが早く、あまり食べることができなかったので、次回行った時はこの時の倍は食べたいと感じました。



弘大、梨大で過ごす時間はあっという間で、何度でも行きたくなるような素敵な場所でした。特に夜の弘大はすごく活気があり、夜中まで明るい場所なので一晩中楽しめる街の理由が分かりました！

(人間心理学科 2年 M.C.)

週末の自由行動 釜山編

私たち4年生4名は、韓国での貴重な土日を釜山で過ごしました。まずはKTX(新幹線)に乗り、大田駅から釜山駅まで行きました。釜山は海が近い町であるため、町には海産物が多くあり、海の香りもしました。ソウルや大田とは全く異なる雰囲気でした！

南浦洞にはロッテ免税店や色々なお店が立ち並び光復路文化ファッション通りというものがありません。日本人だけではなく、外国の方もたくさんいる観光地です。ここでは洋服や靴などを買い、買い物を楽しみました。



西面は釜山の若者の町といわれており、服や靴がとても安く売られていました。ソウルにある明洞と雰囲気が似ています。食べ物屋さんやカフェ、地下ショッピングセンターがあるので、暑い中でも楽しく買い物をすることができました！

甘川文化村は韓国のマチュピチュと呼ばれている町です。カラフルな家が階段式で立ち並んでいて、とても印象的でした。急勾配の激しい道でしたが、現地の方に道を尋ねたり、MAPを見たりして町を回ることができました！



釜山の滞在時間はとても短かったですが、事前の下調べや、習いたての韓国語で現地の人に質問をすることで効率的に観光をすることができたと思います。また、釜山には”なまり”があり、ソウルや大田とは違う独特なイントネーションで、韓国の中での地域の違いというものも見ることができました！

(健康栄養学科4年M.H.)

2 週目 テコンドー体験

今日は韓国語の授業を 3 時間受けた後、午後にテコンドー体験がありました。

最初にテコンドーのステージがあり、培材大学の学生が、テコンドーの型や技などを披露しました。20 人ほどの学生が音楽に合わせて技を披露し、飛び回りながら板を割ったりと、迫力のあるステージでした。



披露された中に、3 人が目隠しをして、鈴の音を頼りに板を割る技がありました。目隠しをした瞬間、日本の学生達はざわつきましたが、3 人全員が目隠しをしたまま板を割ることに成功していたので驚きました。割れた板が近くまで飛んできたり、少し怖い部分もありましたが、割れた板が舞うのは綺麗だなとも思いました。また、女子の学生も 2~3 人おり、連続で板を蹴り割っていてカッコよかったです。



日本の学生は、板を蹴って割ると、手で殴って割るという 2 種類を体験しました。またテコンドーの構えや蹴り、防御なども全員で挑戦しました。そもそも体が硬くて足が真っ直ぐあげられなかったので、テコンドーには、運動神経と体の柔らかさが必要なんだと感じました。

テコンドー体験終了後、
불고기버거(プルコギバーガー)
とコーラが振る舞われました。美味しかったです。

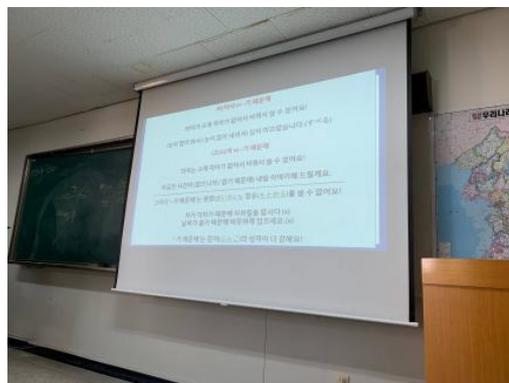


(表現文化学科 2 年 Y.S.)

大田最終日

今日は培材大学で過ごす最後の日でした。午前中には韓国語の授業があり、最後まで一生懸命取り組むことができましたと思います。

また、韓国語だけではなく、韓国の伝統の遊びや、韓国語を用いたゲームなどをする事でたくさんのお話を学ぶことができました。5日間の授業は、とても有意義な時間でした。



午後は送迎会があり、プログラムの参加者みんなで夜ご飯を食べました。修了式も行われました。



長かったようであっという間に大田での生活が終わり、思い出に浸りながら食事をしました。



(健康栄養学科 4年 H.K.)

ソウル2日目とLIVE鑑賞

夜からLIVE鑑賞の予定で、集合時間までは各自自由行動でした。この日がプログラムの最終日ということもあり、ゆっくり観光しようと決めていたので午前中に明洞を周り、午後からソウルに行くというとてもアバウトな計画を立てていました。

9時頃明洞に着いたものの、お店がオープンする時間は10時半～11時にかけてだったので、開店時間に合わせて周辺を散歩することになったのですが…

全く知らない土地で地図を見ないで散歩するという、今振り返ってみればとても勇気ある行動をしたと思います。およそ1駅分は歩きました。



【歩いている途中で撮影】

道路から水が出ているところ(写真左)がとても印象的でした。大学がある宮城県では水が出る道路を見かけたことがありません。

この日は少し風が吹いたこともあり、この水のおかげで少し冷えてとても気持ちよかったです。

夜には参加自由のLIVE鑑賞がありました。チケットは培材大学の方に取っていただきました。観客席には様々な国の人がいてK-POPは世界で人気なのだと感じました。

日本のアーティストとはまた違ったかっこよさや可愛さがあり、とても魅力的でした。



【コンサートが行われたドームへ】

ホテルに戻ると、明日日本に帰れる嬉しさと仲良くなれたほかの大学の友達そして、お世話になった培材大学の方々とお別れする悲しさがあり、心境は複雑でした。

この日歩いた距離はおよそ12kmでした。足がパンパンです。きっと当分こんなに歩かないと思うほどの経験でした。

(人間心理学科 3年 M.K)

帰国

韓国の協定校、培材(ペジェ)大学主催のサマープログラムに参加した学生が23日に無事帰国しました。プログラムには9名の学生が参加しました。

現地学生ボランティア“PILOT”のサポートもあり、楽しく充実したプログラムとなったようです。

学生たちは約2週間、大学のある大田(テジョン)で韓国語や韓国文化を学んだり、大田とソウルでのフィールドワークなどを通して、自分の目で韓国の今を見て体感する機会となりました。

日韓情勢への関心が高まる中、プログラム中は現地メディアによる取材もありました。
(記事はこちら：韓国総合ニュースホームページ：

<https://m-jp.yna.co.kr/view/AJP20190812002300882?section=japan-relationship/index>)

また、仙台空港に帰国した際には学生が取材を受け、協定校のプログラムに参加し自分が感じた様子を話す場面もありました



感想

表現文化学科 2年 S.Y.

二週間という韓国の滞在日数は、行く前は長いと感じましたが、実際行くととても短く感じました。今回一番不安だったのは、友達ができるかどうか、韓国語での授業についていけるのかの二点でした。一人でサマースクールに申し込みをしたので、他の学科の人と仲良くなれなかったらどうしよう、向こうで一人行動になったらどうしようなど考えていました。韓国には一年生の夏休みに旅行で行ったことがあったので、向こうでの生活よりも、大学内での心配が大きかったです。でも同じ二年生も数人参加していて、無事に仲良くなることができました。

韓国語の授業はクラス分けがあるとは聞いていたものの、実際のクラス分けテストは難しく、みんなザワついていました。分けられたクラスは多分中級クラスだったのかな、とみんなと話していて感じました。授業は韓国語のみで進められました。簡単な単語や、基本的なあいさつ、自己紹介はできる前提でしたが、個人的に少し勉強をしていたので問題はありませんでした。同じクラスに同じ大学の人はおらず一人でしたが、隣の席の子も一人だったので、仲良くなることができました。

授業は、配られた教科書とプリントを使って行いました。中級クラスだったので、ハングルの読み書きやなどからではなく、動詞から始まりました。そして建物の名前、乗り物の名前、数字、時間などを学びました。実際に隣の人とペアになって「スイカはいくらですか」「〇〇ウォンです」「そしたらスイカ二つとサクランボを一つください」などの文法を練習したり、先生から「昨日はなにをしましたか？」などの質問があり、それに答えたりと、韓国語のみの授業だったので、韓国語を使う時間が多く、たくさん学ぶことができました。授業の最終日には、大学内のコンビニで先生がクラスのみんなにアイスを奢ってくれ、写真を撮るなど、とても仲良く楽しいクラスでした。



土日は授業がなく休みだったので、同じ二年生みんなでソウルに行きました。大学からソウルまではタクシーとバスで約三時間かかりました。韓国のタクシーは日本語が通じる模範タクシーと、普通のタクシーなど種類があります。模範タクシーは少し値段が高いため、普通のタクシーを使いました。日本では夜にタクシーが多く見かけますが、韓国は朝から様々なところでタクシーが走っていました。初乗り運賃が三百円くらいなので、手軽に乗ることができます。スマートフォンのメモに「バスターミナルまで行ってください」と韓国語で打ち込んで画面を見せて乗りました。韓国のタクシーは怖いイメージでしたが、日本人だとわかると「こんにちは？おはよう」など、知っている言葉を喋ってくれて、とても優しかったです。日韓関係があまりよくない時期でもあったのですが、とても安心しました。

高速バスは事前にインターネットで予約をしていきました。韓国の電話番号がないと予約ができなかったため、現地の大学生に協力してもらい予約をしました。KTX(高速鉄道)を使うと一時間くらいでソウルに着きますが、やはり値段が高かったため、普通の高速バスで向かいました。韓国はタクシーやバスの交通量が多く、値段も安いので、移動には特に困りませんでした。



特に心配だった友達や授業についての不安は、プログラムの序盤で解消され、他に大きな心配もなく二週間過ごすことができました。ただ、次の日の日程や、集合時間などの連絡が遅かったり、寮の水道が詰まったり、エアコンがつかなくなったりと少し不便はありましたが、そこもまた海外にいるんだな、と感じることができて面白かったです。二週間のうち、授業は半分くらいしかなかったため、もう少し勉強したかったなと思いました。簡単な文などを勉強するにはちょうどいいと思い、幼児向けの絵本を買ったので、これからは少しずつ勉強を続けていきたいと思っています。また韓国に行く予定なので、向こうで知り合った人に会えたらいいなと思っています。

私は、この短期留学に行くにあたって3つのことを目標としました。

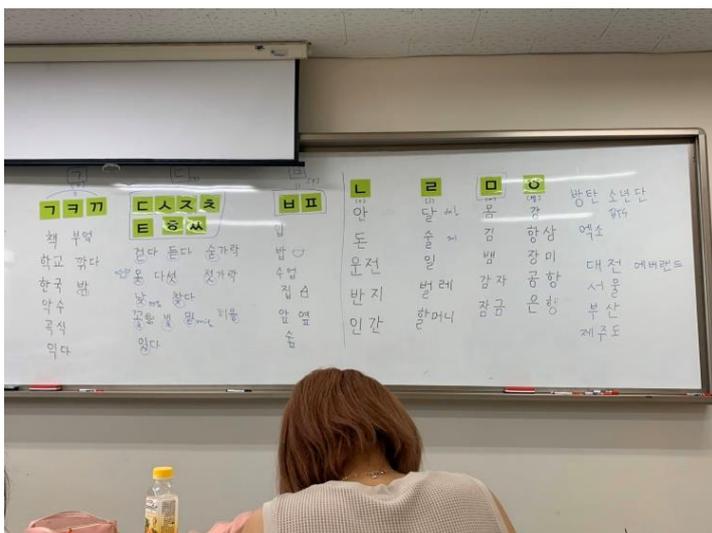
1つ目は、韓国で日本語ばかりではなく韓国語もしっかり使う、です。これに関しては、100点満点中50点だと思います。頑張っておもうとしましたが、現地の人々の発音やスピードはとてはやく、難しく、韓国語をおもうとしても怖気づいてしまいました。しかし、頑張っておもうとしているのを分かってくれた人もいて、ゆっくり聞いていただいたり、逆に日本語を使ってくれる人もいました。

土日は自由行動で、明洞や弘大、江南などに行きました。それらは観光地なので日本語が通じる場所が多く、初めての韓国でも買い物を楽しむことができました。



これは、ソウルの「明洞」にあったチーズドックのお店です。店員さんはとてもフレンドリーかつ日本語が話せる人だったのでスムーズに注文できました。種類がさまざまあり、この時はポテトがついている「ポテトレルラ」を頼みました。とてもおいしかったです。

2つ目は韓国語授業についていく、です。私がこのプロジェクトに参加するにあたって一番心配だったのが韓国語の授業でした。私は全く韓国語ができないので、たとえ自分のレベルにあったクラス分けがされると分かっているにもかかわらず不安でした。しかし、それも杞憂で、授業はスローペースかつ丁寧で分かりやすく教えていただきました。先生は基本的に韓国語で授業を進めるのですが、私たちがわからなそうにすると、簡単な日本語や英語、ジェスチャーを交えて教えてくださいました。私は、たまに自分で韓国語の参考書を買って勉強をしていましたが、こうやって授業を受けるほうが何十倍もわかりやすいなと感じました。短い期間の授業でしたが、簡単な単語を読むこと、意味が理解できる、発音できる…と初歩ではありますがある程度できるようになっていました。今現在はあんまり使えていないので忘れてしまっているかもしれませんが…。



これは実際の授業での黒板の様子です。このように文字のマグネットを用いて教えていただきました。



最後にみんなで記念撮影をしました。短い時間だったのにクラスが終わってしまうのが寂しく感じました。

3つ目が韓国の友達を作ることです。このプログラムでは、PILOT という現地の学生さんがたくさんのサポートをしてくださいました。その中で、私たち尚絅学院大学のサポートしてくれた子が私と同年で、いろんな話をしたり、ご飯を食べたりしました。彼女は日本語学科に通っているので日本が好きで、たくさん日本語を話してくれる子でした。そのほかにも、いろんな学生さんと関わることができました。外国の友達を持つっていうのはこういう気分なのかと嬉しく思いました。

私は、人見知りで人と話すのが苦手です。そんな私が韓国の短期留学に行くなんて一年前の自分はきっと思うはずありません。実際に行って感じたことは、周りの人の温かさが心地よい、ということです。そして人々が仲良くなろうと積極的に来てくれるので人見知りになる暇もありませんでした！気がいたら人見知りでお手な私はどこかに行っていました。このように、外国に行くというのは自分を変える大きな出来事なのかもしれません。次にまた韓国に行く機会があったら、今回いけなかったところや気づかなかったところをまた見つけに行きたいなと思います。

8月11日(日)の朝のフライトで韓国には約2時間で着きました。私は人生3回目の海外で初韓国、2週間という長い日にちを外国で過ごすのは初めてでした。また日韓関係が良くない中での留学だったので不安、恐怖が大きく、留学に行くのにためらいがあったのが本音です。しかし多くの韓国に行く日本人留学生も、多分日韓関係の悪さに不安があったと思うし、多くの留学する予定の日本学生らはキャンセルしたと思います。しかし、留学して1番最初に感じられたのは日本人が多いこと。そして日韓関係については、一部で騒いでいるということに気がつきました。

培材大学の寮に着いたところには、日本から約11~12時間かかっていた。寮は先輩2人と静岡の大学の1年生2人と北海道の大学の1年生と同じでした。

1日目は講座を聞いた後に韓国語のテストをして、お昼を学食で食べて大学見学をしました。自分は大学で中国語を選択していたため、テストでは自分の名前を書く程度になってしまいました。お昼の学食はキムチが好きなので多くとりすぎたのですが、かなりの辛さで、口の中がヒリヒリして完食することができませんでした。そのあとに大学を見学しましたが、あまりに広く、培材大学の学生は場所に迷わないのかと感心するくらいでした。

自由行動の時に美容室に行きヘアカラーをしました。美容室の方は私が日本人であってもフレンドリーで優しくしてくれました。また翻訳機を使って日本語に訳してくれました。周りに日本の留学生が多かったため、留学しても「日本感」があったかたからこそ、初めて国境を超えたと強く感じられました。またその方は「安倍政権が嫌い、安倍が嫌い。だが日本は好きだし日本人は好きだ！」と言ってくれた。日韓関係の悪さは政府の問題だとここで強く感じられました。

帰りに初めてキンパ(韓国風のりまき)とマンゴースムージを買って帰りました。キンパを売っている老夫婦の方も優しくしてくれ、おまけをつけてくれたりとその日1日で韓国の人々の温かさに触れました。

2日目から授業が始まりました。ハングル文字に慣れることから始めたのですが、先生は分からないとすぐに教えてくれるので心強かったです。午後からは体育祭(運動会)がありましたが、自分の中では体育祭はおもいきり転んだ恥ずかしさと痛い思い出が強いです。体育祭も終わり、街に出て初めての体験をたくさんしました。初めての韓国チーズドックは最高に美味しかったです。そして街を探検し、眼鏡屋さんに行ってお土産のスポーツ眼鏡を安く買ったので満足しました。その日の夜はチキンを頼んで食べましたが、安い値段で満足の量に驚きました。

3日目は「エバーランド」というテーマパークを訪問しました。私は絶叫マシンが苦手でしたが、同級生4人は絶叫系が得意なこともあり、乗りました。私は声がガラガラになるくらい叫んでしまい、乗っている他のお客さんからも笑われるくらいだったそうです。

私にとって一番のお気に入りには動物を見たことです。オランウータン、チンパンジー、ナマケモノに目が離せず、オランウータンはすごく元気で日本に連れて帰りたいくらいでした。そして韓国で初めてパンダを見ました。眠っていて顔はよく見ることはできませんでしたが、思っているより大きいことが分かりました。エバーランドでもお土産を買うことができたから満足です。その日食べた中でも一番おいしかったのはバスの中で食べたサンドイッチでした。

4日目は授業を受けた後に大田市を見学しました。授業はハングルの読み書き、パッチングすることで読み方が変わるので難しく感じました。韓国語の先生は世間話や日本のことを質問してくれるなど、楽しく学ぶことができました。大田の街に移動すると、まず韓国の学生オススメの可愛いレストランに行った。トロトロのチーズピザにカルボナーラを食べましたが、とても美味しく、安くボリューム満ちでお腹も満たされました。

NOJapanのデモをしていたらしく、デモが落ち着くまで地下ショッピングをしました。だが自由行動をした時も何人かデモをしている人がいるのを見かけ、少し胸が痛くなりましたが、現実を知ることができました。

ショッピングでは、かわいい服や文房具を買えたから満足できました。大田から大学までバスで帰ることができ、これも1つの成長だと感じました。

5日目は授業を受けました。単語の学習まで進めることやペアで会話をするところまで出来ました。先生がたくさん質問をしており、先生も生徒のことを知ることができてうれしそうに見えました。

6～7日目はソウル旅行をしました。日帰りソウルと言うことでハードスケジュールでした。1日目は食べ歩きとショッピングをしました。チーズがかかっているチキンを食べ歩いたり、コスメや服を見たり、カカオショップでお土産を買って休憩するのに“ゴンチャ”でタピオカを飲みました。とてもハードスケジュールでしたが充実しました。

2日目はソウルに着いてまずコスメを買いました。友人と別行動をして私たちは江南に行き、韓国でも日本でも人気の“TWICE”のショップで1時間過ごしました。1万円ほどの買い物をしてだけでたくさんのおまけをもらい、4枚のカードや、本をもらいました（インターネットで調べたところ6000円ほどするそうです）。日本のTWICEショップでは1万円で1枚もらえるカードなのに驚きました。しかもお店の方が、自分の好きな子を把握してくれたのか、4枚すべて私の好きなアイドルのカードでした。

明洞で服を買い、夜ごはんはサムギョプサルの食べ放題を食べましたが、初めての本場のサムギョプサルは忘れられない味でした。

8日目、留学して1週間たった日は、テコンドー体験をしました。テコンドーの演舞は迫力があり、目が離せなくなるくらいでした。しかし実際自分がやってみると、基礎も難しく、板割りが怖い自分が情けなかったです。最初、板割りは周りの声に恐怖を感じ、優しく板をたたいてしまっていました。ですが、学生がすぐにやり方を教えてくれ、板を割ることができました。この触感は忘れられないと思います。

9日目、卒業式をしました。みんなで食事を楽しみながらダンスを見たり、賞状を頂いたり、この2週間の留学の頑張りが伝わったし、学んだことを忘れられないと感じました。韓国の学生とも仲良くなれて心から嬉しく思うし、またみんなに会いたいと思いました。

10～13日目はソウルに移動し、自由行動を楽しみました。韓国人の優しさや韓国の文化、そしてソウルで出会った素敵な友人。韓国は素敵な国、優しい人が多い国なんだと思いました。

人間心理学科 2年 M.C.

この留学に参加する前と後で、たくさんのことを学ぶことができました。まず、留学に参加する前の自分の目標が三つありました。一つ目は、韓国人の友達を作り交友関係を広げたいということです。実際、培材大学のPILOTの学生はみんなフレンドリーで優しく、日本語がとても上手で韓国語がまったく話せない私にとって日本語でコミュニケーションが取れることはとてもありがたかったです。培材大学の学生は日本にいい印象を抱いてくれている学生が多く、日本の文化やアイドルが好きな学生が多く嬉しかったです。



ちょうど私たちが研修に行く時期に、日韓関係があまり良くない時期だったので受け入れてもらえないのではという不安があったのですが、そんなことはなく韓国の人の優しさを感じました。また、日本人と違って誰にでも積極的に話しかけてくれることや、日本人は物事を曖昧にしていますが、韓国人は、はっきりと物事を決めたい性格をしていると思いました。友達もできたのでよかったです。

二つ目は、基本的な韓国語を覚えて使えるようになることでした。培材大学での生活ではほとんど毎日、韓国語の授業があったので、ハングルの書き方や読み方、基本的な挨拶や自己紹介の仕方を分かりやすく教えていただきました。クラスごとに分かれて授業を行う形で、クラス内でコミュニケーションを取りながら学習していけるので楽しみながら分かりやすく韓国語を学ぶことが出来ました。



三つ目は、韓国の文化を学べたことでした。私はもともと韓国の文化がとても好きで、K-pop や食文化にとても興味があり、SNS などで情報を得ていたのですが、実際に現地に行ってみると自分が思っていたことと異なっていたことがありました。食文化では辛い物がほとんどだと思っていたのですが、もちろん辛い物も多いのですが、肉料理やタピオカなど日本でも流行っている食べ物や、好まれている飲食店が多くありました。また、辛い物か甘い物と極端なものが多く、しょっぱいものや酸っぱいものなどが少ないように感じました。街並みではお店やビルが多く、屋台なども多くあり活発な町が多いと感じました。ですが、大田の町並みは仙台に似ているように感じました。



留学に行ったことで今まで自分が持っていた価値観や固定概念が変わりましたし、韓国のいいところをたくさん知れたことでより韓国という国が好きになりました。他国の文化のいいところをたくさん学ぶことができ、普段の生活に学んだことを取り入れてみようと思いました。

人間心理学科 3年 M.K.

およそ2週間のサマースクールは私にとって、とても貴重なものとなりました。留学前の私の韓国語レベルは、自分の名前を韓国語で書くことができる程度でした。第二外国語で韓国語をとっていた訳でもなく、かなり初歩のところまで止まっていた。初日に行われた自分のレベルにあったクラスに振り分けるためのレベルテストでは、名前だけ書いて提出した記憶があります。その日の夕方には韓国語授業のクラスは発表されていました。後に知ったことですが、クラスを振り分けられた後でも先生と相談した上でレベルの変更は可能でした。



韓国語の授業は基本的には韓国語で行われます。と言っても、とても噛み砕いた表現で説明していただきます。どうしてもわからない時は、日本語の単語で説明してもらえます。何を言っているのか詳しくは分からないけれど、ニュアンスは分かる状態に近いです。先生が実際に日本に行って体験した話や、キムチが苦手なことなど、“日本と韓国の違いがある”はとても共感ができ、親近感がわきました。実際に歓迎会でキムチを食べましたが、とても辛かった

です。日本で売られているものと比ではないように感じました。

教科書は1人1冊配られます。この教科書はレベルごとに違います。教科書の他にも、先生が作成したと思われるプリントがありました。私のクラスはハングル文字を読み書きするところからスタートだったので、授業に参加する度に表現出来る言葉が増えるという楽しみがありました。

培材大学はとても広いです。大学の敷地内に寮があることを考慮しても尚絅学院大学よりとても大きいです。校内にはコンビニ、寮だけでなく、銀行やカフェなどもありました。朝には近所の方が校内を散歩しています。とても広く、滞在中は見ていて飽きないほどでした。しかし、大学が小高いところにあるので坂が多く、場所によっては移動するだけで疲れます。加えて、大学にコンビニはありますが、自動販売機がすくないのでコンビニがない校舎には水筒は必須です。自動販売機の数は私が見た限りでは尚絅の方が多いように感じました。





大学を見学した足で、少し校外の方へ行ってみました。韓国の国旗がいくつもあり、見る度に韓国にいることを実感します。日本では国旗を掲揚している所は少ないと感じました。また、日本は商店街やショッピングモールなどいくつか企業が一緒になってお店を出す方が多いですが、韓国ではスーパーセンターは少ないように感じました。大学の近くに日本にもある100円ショップがあり、寮生活する上で足りなくなったものはそこで補充していました。レジ袋は基本有料だということをその時に知り、エコバックを持って行かなかったことを少し後悔しました。当たり前ですが、情報収集は大切です。

このサマースクールが始まる前、学習面、プライベート面で充実させるために立てていた目標があります。学習面では買い物で困らない程度の韓国語が話せること、サマースクール終了後に韓国語関係の試験を何か受けることです。ソウルより大田にいたときのほうが、拙いですが韓国語を使っていたように思います。ソウルは日本人観光客が多いようで、店員さんから日本語で話しかけられることが多く、反射的に日本語を使っていました。そしてプライベート面ではいくつかカフェを回る、チーズが入っている食べ物以外で美味しいものを見つけることです。

学習面で立てた買い物で困らない程度というのは、必然的に飲食店関係での買い物になります。私は自主学習で話す、聞く方に力を入れていました。普通の買い物ならそれでいいのですが、飲食店にはメニュー表があります。写真付きなら指をさして注文することができるのですが、カフェには文字のメニュー表が多く、文字が読めないと注文ができないのでとても苦労しました。そんなことが続いたことと、日韓関係の問題により一人外に出ることが億劫になり、休日はほとんど寮で生活していました。もったいないことをしたと思います。一人の時間も新鮮で楽しめました。

日本で売っている海外旅行雑誌をみると、特に韓国グルメで一番にお勧めと書いてあるものはチーズが大量に使われているものです。チーズが苦手な私にはどうしてもその印象しか残らず、今回のサマースクールでその印象を変えるためにチーズが入っていないおいしいものを探す目標をたてました。結果的にはチーズを克服したという結果になったのですが、無事発見できたこと、また好きだったのが苦手になりかけた体験をすることができました。

サマースクールは情報誌、SNSだけでは知ることができない貴重な体験ができたこともあり、とても満足しています。今後は直接韓国へ足を運ぶことが難しくなりますが、SNSで情報収集しながら韓国語授業で使った教科書に加え、参考書を新しく買いより一層勉強に力を入れて、また韓国に行き、今度こそは今回立てた目標を達成したいと思いません。

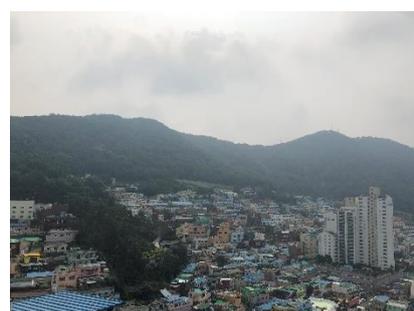
健康栄養学科4年 R.A.

私が今回韓国サマースクールに参加して印象に残っていることをまとめました。特に印象に残っているのは韓国語の授業です。私は大学で韓国語を履修せず、韓国語の参考書を読んだり、好きなアーティストの曲を聴いたりするぐらいしかしておらず、先生は韓国語しか話さないと聞いていたので授業を受けるまでは不安でした。しかし、不安とは裏腹に、簡単な韓国語でゆっくり話していただき、絵を用いて説明してくれたのでとても分かりやすかったです。だんだん単語を書けるようになっただけでなく文を作ることも出来るようになりました。独学では学びきれない発音も何度も教えていただきました。5日間、韓国語を「読む」「書く」「聞く」「話す」ことを、時間をかけて教えていただいたので、独学で韓国語を学んでいたときよりはるかに上達し、より韓国語の楽しさを学ぶことができました。これからも毎日コツコツ勉強していきたいです。そして、自分の好きなアーティストの曲を聴くだけで意味を理解することができ、韓国へ旅行した際、店員と会話しながら買い物をするのが目標です。



次に印象に残っていることは休日に友達と行った釜山旅行です。大田駅から釜山駅までKTXという日本でいう新幹線に乗って行きました。釜山に着いてまず、最初に光復路というファッション通りに行きました。たくさんの服と靴のお店やカフェが並び、原宿のような雰囲気でした。お昼には韓国本場の冷麺を食べました。韓国の冷麺は食べる前にはさみで切るスタイルで麺も日本の冷麺より細く、とても美味しかったです。

次の日は甘川文化村に行きました。甘川文化村は韓国のマチュピチュと呼ばれる街でカラフルな家が建ち並び、いたるところに芸術的なアートが書かれていてインスタ映えするようなスポットで、歩いているだけで楽しかったです。二日間を通して釜山の住民の方は予想以上に温かく親切だったし、ソウルとはまた違った釜山ならではの風景を見ることができとても充実した休日でした。

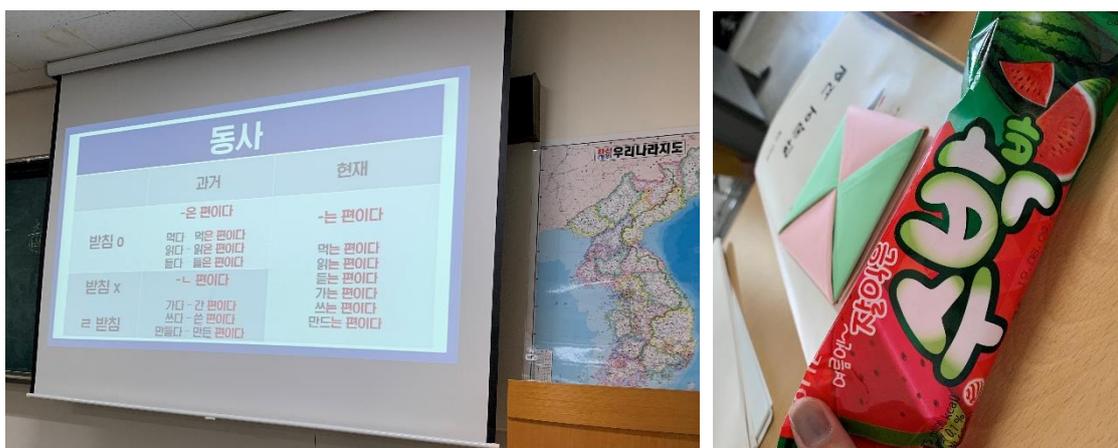


2週間の韓国サマースクールを通して、短い間でしたが、語学の能力は行く前よりかなり上がりました。これからも少しずつ韓国語を学んでいきたいです。また、韓国の文化や歴史にたくさん触れることができたし、日韓関係があまりよくない状況の中行ったので少し不安でしたが、PILOTの方はもちろん、地域住民の方も、私達が日本人だと分かってもとても優しく接してくれて韓国人の暖かさを感じました。これからプライベートで韓国へ行った際には、今回参加した韓国サマースクールでの学びを活かして韓国人とコミュニケーションを取りつつ、韓国の良さをたくさん知っていきたいです。

健康栄養学科4年 H.K.

私は今回、3年越しの夢が叶って、韓国サマースクールに参加することができました。期間は8月11日から23日の13日間で、韓国の培材大学で行われました。韓国語の授業だけでなく、フィールドトリップや文化体験など色々なプログラムがあり、とても充実した毎日でした。ここでは、その中でも印象に残っている3つのことを振り返ります。

韓国語の授業



私が韓国語を勉強していたのはもう2年前のことです。そのため、最近では旅行に行くだけで、あまり韓国語にふれる機会はありませんでした。しかし、培材大学での韓国語授業は、全て韓国語で進められたのです…！分からない単語が飛び交い、とても不安な気持ちになり、毎日焦っていたことを今でも覚えています。

実際の授業では、韓国語の文法を韓国語で学び、先生は一生懸命ジェスチャーなどを交えて教えてくださいました。また個人的には、テキストを音読する時は、韓国人の発音を真似し、先生に質問する時は韓国語で話す、ということを心がけました。伝えたいことが相手に伝わらず悔しい思いをしたり、心が折れて翻訳機で会話をすることもありましたが、積極的に韓国語を使うことができたと思います。このように自ら韓国語を使い、コミュニケーションをとることで、会話の中で新しい単語を覚えたり、単語の活用形の規則を覚えたりとたくさん学ぶこともありました。翻訳機が手放せない日々でしたが、授業最終日には、先生の質問にも受け答えができるようになりました。日本では経験できないことなので、頑張った良かったです。今後はこの経験を活かし、TOPIK 3級合格を目指したいです！

フィールドトリップ（釜山旅行）



サマースクール中の土日は自由行動ができたので、友人たちと釜山に向かいました。培材大学がある大田からは、高速鉄道に乗って1時間ほどでした。釜山には、ショッピングモールや市場などがたくさんあり、大きな都市であることを実感しました。

その中でも特に印象に残っている場所は「甘川文化村」です。甘川文化村はカラフルな家がたくさん立ち並ぶ場所で、インスタ映えスポットやドラマ撮影地にも使われたことから、観光客に人気です。私も写真を撮り、景色を楽しみましたが、パンフレットで、「甘川文化村は朝鮮戦争の避難民によって作られた村である」ということを知り、とても驚きました。綺麗な街並みの裏側には歴史が大きく関係していることを知り、もっと歴史についても学びたいと思うようになりました。

美容室



私は今回初めて韓国美容室に行き、髪の毛を染めました。韓国のアイドルは派手な髪色の人が多いためか、美容室内にもピンクや赤、青などのサンプルが置かれていました。施術の流れなどは日本と変わらないと感じました。

しかし、髪の毛を染め終わって、頭を触ってみると…頭皮に感覚がありませんでした…。ブリーチをしていないにも関わらず、1週間ずっと頭皮が痛くて大変でした。国によってカラー剤の基準も違うことが分かり、とても勉強になりました。

二週間の韓国留学では、今まで成し遂げることができなかつたことに挑戦する機会やたくさんの発見がありました。それらについて、いくつかまとめていきたいと思います。

1. 交通機関の利用

ぼったくりが心配だったことや、遠出する機会がなかったためよく地下鉄を利用していました。しかし、留学中にタクシーやKTX、バスを利用して印象が変わりました。タクシーの運転さんは、気軽に声をかけてくれる方が多く、翻訳機を用いながら日本に来た際の話や芸能人に友人がいる話など興味深い面白い話を沢山してくださり、優しい方が多いと感じました。また、大田から釜山に向かう際にKTXを利用し、利便性を実感したため、たくさん利用していきたいと思いました。これらのことから、何事も自分で経験してみることが大切だと感じました。



【KTX】



【KTXのチケット】

2. 韓国語での交流

今まで旅行先として必ず訪れていたソウルでは、観光客も多いことから日本語が堪能な方が多く、なかなか韓国語で会話を実践できる機会がありませんでした。しかし、留学先だった大田では、日本語を話せる方が少なかったことから、ショッピングをした際に店員さんに韓国語で話しかけ、簡単な会話をすることができ、積極的に韓国語で話すという目標を達成できました。しかし、言いたい単語がうまく出てこないことや、うまく伝わらなかった場面もあったため、勉強し続けることの大切さを実感しました。

3. 現地での韓国語授業

授業はすべて韓国語で進められるため、必死に覚えようと授業に自然と集中できるいい環境でした。担当してくれた先生はとてもユーモアのある方で、いつも笑いあふれるクラスでした。授業は一人一人に質問していることが多く、全員がしっかり理解できるよう進

められていました。最後の授業では先生がアイスを奢ってくれて、みんなで写真を撮ったり話をしたりする時間を設けてくれました。全体的に想像していたより楽しく、ついていきやすい授業でした。書きを上達させたいという目標がありましたが、小テストでパッチムのミスが多かったため、覚えるまで書き続けることが必要だと考えました。



【授業の休憩時には動画を流してくれました】 【クラスメイトと先生との集合写真】

4. 日本と韓国の関係

ニュースで反日デモや韓国人による被害が多く取り上げられている時期であったため、少し留学することに不安がありました。一部では「NO JAPAN」表示や小さなデモを見かけましたが、自分が想像していたよりはひどくなく、逆に韓国人の温かさを今まで以上に感じました。カフェで隣の席に座っていた方に「日本人ですか？」と声をかけられ日本語で話をしてくれたり、お店の前でしばらく待っていた際、前の方が「日本の方ですか？これは予約制ですよ！」と親切に翻訳機を用いて教えてくれたり、釜山で買い物をした際、店員さんがおまけをしてくれたり、宿泊先のホテルの方は「楽しんでください！」と声をかけてくれたり、心温まる出来事がたくさんありました。そのため韓国へ行く前に感じていた不安がなくなり、安心して楽しむことができました。このことから実際に足を運んでみないと分からないこともあったと感じました。

留学を通して、新しいことにチャレンジする機会も多かったし、様々な人との交流も持て、今まで以上に視野が広まり、参加して本当によかったと感じました。また韓国に行く機会があれば、より語学を上達させてもっといろいろな人といろいろな話をしたいと思いました。また、一部の情報や思い込みで行動を避けるのではなく、新しいことに挑戦してより多くの発見や経験をしたいと感じました。

私は 2 週間の韓国サマースクールに参加し、様々な経験と学びを得ることができました。2 週間も日本から離れて生活をするという経験を初めてしたことで、学ぶことが多くありました。

まず、言葉の大切さを学びました。私は、韓国語の読み書きがあまりできないまま、このプログラムに参加をしました。何かを買うにしても、伝えるにしても、日本語でなら簡単に伝わるのが上手く伝えることが出来ず、とても苦勞をしました。こういったことから大切さを感じましたが、他にも感じた時がありました。それは、日本語を見たり聞いたりすると、安心する自分に気づいた時です。留学中、日本語の曲ばかり聴いていたほどでした。やはり、言葉を理解できないということは、人を不安にさせるのだと、自分が感じたことから、学ぶことができました。他に、韓国語を理解できた時、伝えることができた時に、喜びを感じたことも挙げられます。具体的には、町中にあふれているハングルの中で、韓国語の授業で習った言葉があり、理解することができた時や、試着はできますか?とはどういうのかを自分で調べ、それを覚えて、次の日に実際に使用して伝えることができた時など、本当に些細なことではありますが、喜びを感じることができました。こういったことから、言葉の大切さを学ぶことができました。

次に、出前文化について学びました。寮で生活をしている時、夜ご飯に何回か出前を使いました。日本では、出前ができる料理はある程度決められていますが、韓国では様々な出前があり驚きました。また、日本では学生が出前を取ることはあまりないことだと思います。しかし、韓国の学生は日常的に出前を使用しており、頼むことも慣れていたことから、出前を取る当たり前ののだと感じました。私は、韓国の出前「ペダル」を知らなかったため、学ぶことができました。

他にも韓国人の方の優しさにも様々な場面で触れました。例えば、釜山で甘村文化村に行った際、道に迷っていたら、地元のガイドの方が、どこに行きたいのか聞いてきてくれ、場所を教えてくださいました。また、タクシーに乗った際、運転手の方がわざわざ翻訳機のアプリを使いながら、日本のどこから来たのかなどたくさん話しかけてくれ、楽しい車内にしてくれました。コンビニでは、私たちが日本人だと分かると、貼られていた NO JAPAN の文字を隠してくれたり、たくさん韓国人の方の優しさに触れました。

このようなことから、少しでも韓国語の読み書きができるようになる、簡単な会話ができるようになる、韓国語で話していることを所々でも理解できるようになる、韓国の文化について知るといった韓国に行く前にたてた目標をある程度達成することができました。

しかし、様々な場面で、もっと韓国語が話せればと、伝えることが出来ないもどかしさも感じたため、韓国語をもっと勉強して、会話ができるようになり、更にコミュニケーションを取れるようになりたいと思いました。今回経験した様々なことをこれからしっかり生かしていきたいと思えます。

フォトスナップ





韓国短期留学報告会 ～現地での気づきと学び～

健康栄養学科 4年 阿部玲奈 員吹妃莉
村上日奈子 武田麻由



発表の流れ

1. サマースクールの概要
2. 韓国語授業
3. 文化体験
4. フィールドトリップ
5. 日韓関係について
6. 振り返り



1. サマースクールの概要

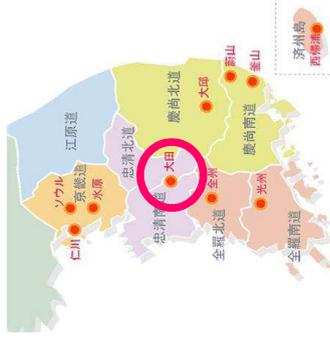


- ・ 場所：ハジエ大学（尚絅学院大学との協定校）
- ・ 期間：2019年8月11～23日（13日間）
- ・ 参加人数：9名（尚絅学院大学）
- ・ プログラム内容：韓国語授業・フィールドトリップ・テコンドー体験など

サマースクール日程表

時間	午前	午後
1日目	オリエンテーション・レベルテスト	大学見学
2日目	韓国語授業	体育大会
3日目	フィールドトリップ（エバーランド）	フィールドトリップ（エバーランド）
4日目	韓国語授業	大田見学
5日目	韓国語授業	韓国語授業
6日目	自由時間	自由時間
7日目	自由時間	自由時間
8日目	韓国語授業	テコンドー体験
9日目	韓国語授業	歓迎会
10日目	ソウル見学	ソウル見学
11日目	ソウル見学	K-POPコンサート
12日目	帰国	

■ 大田広域市



- 韓国で5番目に大きい都市
- 面積：540.1km²（仙台市の10分の7くらい）
- 人口：約153万人（仙台市の1.4倍）
- 韓国の真ん中に位置し、交通の便が良い
- KTX（高速鉄道）が乗り入れている

■ ペジエ大学



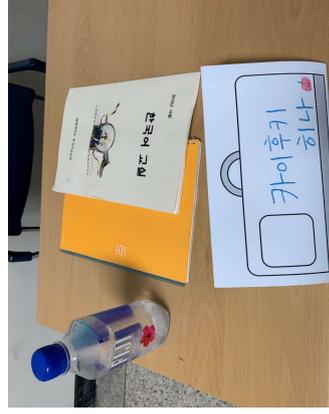
- 韓国で1番最初に創立された大学
- 国際化に力を入れている大学
- 世界各国から留学生を受け入れている
- 学生数は約1万人（尚綱の5倍）



日本学科の学生以外にもエアライン学科・メテオ学科・テコンドー学科の学生も日本語が話せる！

- 高校の第二言語として日本語を選択する人が多い
- 日本のアニメや漫画、映画など韓国でも人気がある

2. 韓国語授業



- レベルごとにクラス分け
- 基本韓国語のみで進められる
- 発音や読み書きなどテキストに沿った授業内容



日本語と韓国語の文法構造が似ているため、単語を覚えれば比較的聞き取りやすい！！

中国から同じ言葉（漢字）が朝鮮と日本に伝わったため



감사합니다

안녕하세요

- ✓ テキストにでてくる単語が難しく、翻訳機が手放せなかった
- ✓ 初日は先生の話していることも難しく聞こえたが、最終日には受け答えもできるようになった！

3. 文化体験

- テコンドー体験
- 韓国での食事



■ テコンドー体験



- ・韓国発祥の格闘技の一種で国技に指定されている
- ・大学にはテコンドー学科がある



○ テコンドーの技

- ・型 (トゥル)
- ・組手 (マッソギ)
- ・威力 (パワーブレイクキング)
- ・特技 (スペシャルテクニク) の4種目

型



威力 (板割り)



○ テコンドーと空手の違い

- 【テコンドー】
 - ・足技が多い
 - ・間合いが遠い
 - ・瞬発力とスピード
- 【空手】
 - ・打撃が多い
 - ・間合いが近い
 - ・パワーと威力

■ 食文化

① 学食が辛い！！



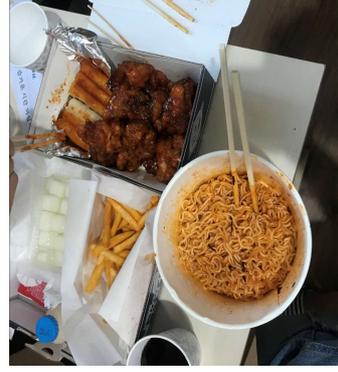
② おかずがサービスで付く



③ ビュッフェ
包み菜の種類が豊富、お寿司がカラフル?!



④ 韓国は出前が生活に根付いている?!



1. 量の割に安い
2. スピード重視
3. 配達先が自由
4. メニューが豊富
5. 配達アプリで簡単に注文可能
6. 24h 配達可能な店が多い

4. フィールドトリップ

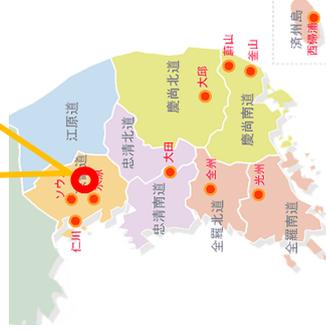


- エバーランド (龍仁市)
- 釜山
- ソウル
- KTXについて

■ エバーランド



龍仁(ヨンイン)市にある
(ソウルのすぐ下)

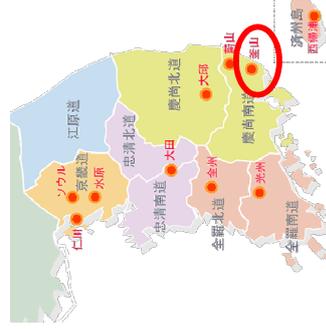


～感じたこと～



- ✓ Wi-Fiが完備されている
- ✓ 開園しても乗り物によって始まる時間
間が異なる
- ✓ 外国人旅行者が多い
- ✓ 1日では回りきれないほど広かった

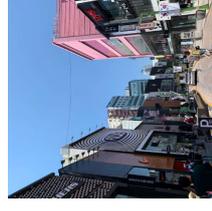
■ 釜山広域市



- 韓国第2の都市
- 面積：766.1 km² (仙台市786.3km²)
- 人口：約344万人 (仙台市の約3倍)
- 海と山に囲まれ自然が豊か
- 主要都市の中では、日本に1番近く、日本との関係も密接 (船で行き来可能)

○南浦洞 (ナンポドン)

- 大型ショッピング施設をはじめとした、様々なお店がたくさん立ち並んでいた。
- メインストリートは、光復路 (ガンボック口) 通り

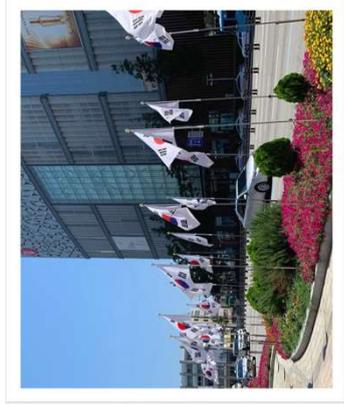


○西面 (ソミョン)

- 釜山で一番若者が集まる場所である。
- 東京の原宿や渋谷に雰囲気似ている。
- 地下街が広がっている。
- 夜までたくさんの人で賑わっていた。



○光復路（ガンボック）とは？



- 太平洋戦争の終結をもって、日本人支配からの光復（解放）を迎えたという意味がある
- 通りの至る所に韓国国旗があった

○甘川（カムチョン）文化村



- カラフルな家が山沿いに立ち並び、村中に様々な芸術作品が溢れている。
- 路地が入り組んでいて、勾配が急な坂が多い。
- 元は、朝鮮戦争避難民の集落であった。



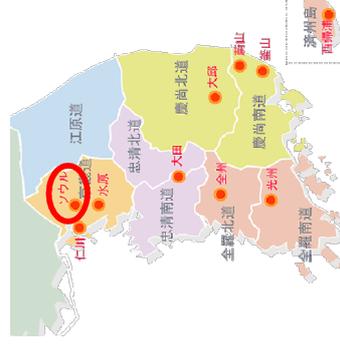
プロジェクトによって今の村が出来上がる。

○現地の人々の優しさ



- タクシーの運転手さんが翻訳機を使いながら、話しかけてくれた。
- 地元のガイドの方が、道に迷っていた際に、親切に教えてくれた。

■ ソウル



- ソウル特別市
- 韓国の首都
- 面積：605.21 km²
- 人口：約1千万人
- 仁川空港に隣接
- ソウル、仁川、京畿道の首都圏に約半数の人が集中

～ソウルで感じたこと～



- 外国人が半分以上
ソウルの街は観光客でいっぱい
- 店員の客引きがすごい
店員さんが一人一人のアテンションについていた
- 個人経営の若者向けの店が多い
ブランドを立ち上げやすい環境がある?!
- 地域ごとに特性がある
明洞：飲食店や、人気ブランドが集結
弘大：ハイブランドの店や、お洒落なカフェがたくさん
東大門：ショッピングモールや、夜遅くまで営業している店が多い

K-popコンサート

- **SORIBADA BEST K-MUSIC AWARDS(SOBA)**
韓国最大規模、最長期間で開催される大型韓流フェスティバル
「k-world FESTA」の中で開催される音楽授賞式
- **会場：** KSPD DOME
- **開催：** 2019 8/22 .23
- **賞の種類：** 大賞、音源大賞、本賞、特別賞
- **投票：** モバイルアプリを通して投票可能（約一か月間）
- **視聴：** U-NEXTで独占生中継
- **料金：** ¥6000
- **出演者：** TWICE・ITZY・MOMOLAND・MAMAMOOなど

コンサートを見ての感想①



- 熱狂的なファンが多い
- SNS戦略
- 音楽番組の放送が頻繁
- 掛け声で応援
- CDの特典でリリースイベントに参加可能



コンサートを見ての感想②



- K-POPのグローバル化
- 動画共有サービス
- 中毒性の高いダンスや楽曲
- 海外進出するグループが多い

■ KTXについて：日本の新幹線のようなもの

**KTX (高速鉄道) に
改札がない!!!**



目的：混雑緩和と自動改札機トラブルの回避

- ✓ 信用乗車方式の採用
- ✓ 電車内でもチケットを確認されることはない
- ✓ 電車内ではタブレット端末で係の人が座席と乗客を確認している
- ✓ 無賃乗車や不正乗車への法的措置が2018年6月に改正された（通常料金の30倍の罰金等※日本は2倍）

大田駅



KTX車内



朝食とともに！



コンセントとUSB付！

紙チケット



☆ソウル

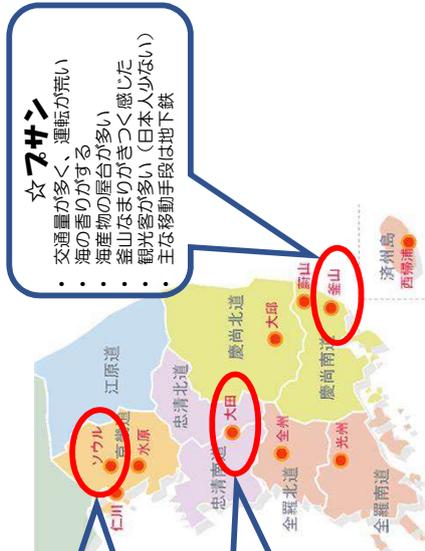
- 観光客が多く、どこに行っても人で溢れていた（日本人多い）
- 街中にカフェやコスメショップなどが多い
- 日本語を話せる韓国人が多い
- 韓国語が分からなくても不自由はない
- 地下鉄でどんなところにも行ける

☆デジョン

- 駅前のウネンドンという場所にお店が集まっていた
- ハイブランドのショップはない
- ソウルに比べ、高い建物が少ない
- 外国人は珍しく、韓国語が必須
- 主な移動手段はバス
- 比較的静かで仙台に雰囲気似ていた

☆フサン

- 交通量が多く、運転が荒い
- 海の香りがする
- 海産物の屋台が多い
- 釜山なまりがきつく感じた
- 観光客が多い（日本人少ない）
- 主な移動手段は地下鉄



5. 日韓関係について



大田市庁前



釜山の飲食店



大学近くのコンビニ



韓真屋さん

- 大田と釜山の街中には「NO JAPAN」の文字があった
- 「私たちは**日本製品を販売しません**」という内容
- コンビニでは韓国でも人気があるアサヒビールやほろよい、お菓子などがなかった

実際は...!?

大田の美容室



「イルボンチョアへ！」
(日本好きです)

「NOJAPAN」から
「YESKOREA」へ



ソウルの街中

～感じたこと～



留学前

- 連日のニュースで日韓関係が最悪な状態であると思った
- 韓国人に軽蔑視されるのではないかととても不安だった
- 親がとてども心配していた



留学後

- ニュースでは報道されない「YES KOREA」
- 韓国人の気遣い
- 韓国の一般市民は日本が好きなのが多い
- いつも通りの韓国



6. 振り返し

- 韓国語の読み書きができるようになる ○積極的に韓国語を使う
- 達成度...100%
- 授業で基本的な読み書きはできるようになった
- お店では韓国語で注文することができた
- 韓国人の友達とは日本語で話すことが多かった



•ペジエ大学のテキストを自分で解いてみる
•TOPiK3級合格を目指す



•韓国人の友達とコミュニケーションをとる
•旅行に行き、韓国語に沢山ふれる



ご清聴ありがとうございました！



表紙写真: 韓国夏期短期留学参加学生
撮影場所: 韓国 大田市、ソウル特別市内

尚綱学院大学 国際センター
international@shokei.ac.jp